

平成24年度 平和資料館親子見学会

参加者の感想



対 象 町内小学校5・6年生と保護者

参加人数 11組22人

実施日 平成24年7月28日(土)

見学場所 『川崎市平和館』

『昭和館』

主 催 愛 川 町

後 援 愛川町教育委員会

この見学会の参加者に無記名でアンケートを実施しましたので、自由意見として書かれた感想等を一部紹介いたします。

なお、掲載している文章は、基本的に原文どおりですが、誤字・脱字など細かい部分は訂正しています。

1. 小学5・6年生の感想

No.	感想等自由意見
1	わたしは、あまり昭和についてしらなかったけど、川崎市平和館と昭和館に行ったので、すこしわかりました。
2	えいぞうを見て、私より大きい人もやせてガリガリになっていて、とてもかわいそうだった。昔の物や昔のせんそうのえいぞうを見て、今は家具とかが昔よりつかいやすくなっているけど、昭和のころはつかいにくそうだった。せんそうで、ぼうくうごうや川の中になげた人たちも約10万人以上の方が亡くなってしまって、今までより、せんそうはいやだなと思いました。千人針がたくさんあって、つくるのに時間がかかったと思いました。5銭や10銭硬貨がつけられているのもあって、いっしょうけんめいつくってあげたんだと思いました。いつも私はたくさん食べて、きれいな水をのんでいるのがあたりまえだとすこし思っていたけど、今でもごはんやおいしい水がのめない人がいるんだと思った。いろんなことがわかって、とってもよかった。
3	難しい所がたくさんあったので、わからない所もあったけど、知らなかった事などたくさんわかったのでよかったです。
4	戦争についての関心が深まりました。戦争のひさんさを知り、とても良いしげきになりました。
5	川崎市平和館では、最初に、昔の人のすんでいる所が被害にあっているビデオを見ました。空からおちてくるバクダンが家の上とかにおちてきて、人々はケガをしたりして、かわいそうだと思いました。「日本と戦争」というコーナーがあって、戦争がおきている時のぶきや身につけている物や、生活に使う物がおかれていました。 昭和館には、昔の人の身につけている物や生活に役だつ道具、新聞、本、雑誌などが置いてありました。 昔の子どもは戦争があったので、お父さんたちは戦ってなくなる人も多くいたので、子どもはかわいそうだと思いました。なので、私たちも子どもに何かしたいと思いました。 私は川崎市平和館と昭和館に行って、いろいろな事を知りました。だから、きかいがあつたらまた行きたいなと思いました。

2. 保護者の感想

No.	感想等自由意見
1	<p>今までは戦争という武器の暴力がないことが平和だと思っていました。しかし、資料館の説明員さんの話を聞いていて、それは違うなと感じました。</p> <p>銃弾やミサイルじゃなくても、いじめや貧困の格差など泣いている子供たちがいっぱいいます。この子供たちが少しでもいなくなるのが平和なのではないかと思います。</p>
2	<p>重たいテーマではありましたが、ツアーそのものはよかったと思います。子供達に戦争がよくないという事、伝われば良いと思います。</p> <p>毎日ごはんがたべられる事に感謝して、おいしく食べたいと思います。</p>
3	<p>平和とは、と聞かれると、戦争のない世界と思っていましたが、今日の解説や展示を見て、戦争がないから平和というわけではないんだと考えさせられました。</p> <p>スペースシャトルとミサイル、いつでもきれいな水が飲めたり、食べることができる世界とそうではない世界があり、同じ人間として生まれても、その国の政治や環境によって違いがあることは、平和ではない。でも、少しずつでも、そのちがいをかえていけるようにはたらいっている人がいるので、私たちにも何かできることはないか考えていきたいと思いました。</p>
4	<p>私は川崎大空襲のことは知らなかったのですが、他にも全国で空襲の被害があったことも知りました。川崎市平和館で、“戦争がないことだけが平和ではない”という話が印象に残りました。今年の震災、原発事故で、日本全体の意識が変わってきていることを感じます。やはり、一人一人が他の人を思いやり、絆を結んでいくことが平和につながっていくと思います。私も自分さえ良ければいいという思いを捨てて、小さなことから（節電でもいいし、笑顔を忘れないでもいいし）始めていきたいと思いました。</p>
5	<p>誰もが幸せになりたいと思っているのに、人を苦しめたり、傷つけたりする事などしたくないと思っているはずなのに、なぜいつまでも大きなレベルでの“争い事”や不幸な事件が起きてしまうのだろう。</p> <p>何か問題が起きた時、あまりにこまりすぎると、正しい判断能力がなくなってしまうのが、人間という生き物の特ちょうなのだろうか？</p> <p>私に何が出来るのか、いつも考えてはみるが、お金を寄付する事が出来ないし、ボランティアもしたくないし、結局、自分の生活を守る事でいっぱいいっぱい、心のゆとりもない為、人の為に何かをする事が出来ないでいるのが情けないと思った。</p> <p>「日本」とか「アメリカ」という国の名前で一くくりにしてしまうと、日本人全員が悪者みたいな印象を受ける。戦争をはじめる人なんて、わずかな数しかいないはずなのに・・・。</p>

自分が子供の頃は、8月半ばになると戦争関係の番組が多く、平和について意識する事が多かったと思います。

今は、家族でそろってテレビを観るという事も少なくなってしまった事もあるからか、この類の放送を見かけなくなりました。

それでも、アニメ「ほたるの墓」は我が子も小さいころから観て、小さいなりに、家族一緒に暮らせることや、食事をできる事などの大切さは、理解していたようです。

6 現在の子供達の喫煙や薬物使用等が言われてますが、戦争孤児の子供達が、すいがらを拾い集めて、再作成をしていた姿は悲しいものでした。

昨年3月に被害があった大震災でも、家族を失った子供達は多かった事だと思います。

戦争だからとか、震災後だからという事ではなく、常に平和である事の大切さを意識して生活したいと思います。

今なお続いている戦争での写真でも、子供達の笑顔には、目に力を感じますが、見学した写真での子供達の目の弱さに、戦時中の厳しさが感じられます。また、青空教室での学習意欲を子供に理解してもらえたら嬉しいです。